

日本情報科教育学会 第7回フォーラムのご案内

「21世紀型スキルと情報科教育」

PISA2015ではコンピュータ上での疑似生徒との対話に基づく問題開発力（協調的問題開発力）とICTリテラシーの測定が初めて導入されます。近年のPISAでは、ペーパーベースのみならず、コンピュータ利用での数学的リテラシーと科学的リテラシーの測定が行われています。また、2006年以降、コンピューターショナル・シンキング（Computational thinking）の育成が世界的に意識されるようになり、その育成法に関する研究および実践が進められています。

このような動向に対して教科内容的に最も近いのは、我が国の情報科ではないでしょうか。ならば、情報科で育成されることは期待される能力と、21世紀型スキルおよびコンピューターショナル・シンキング力にはどのような関連があるのか。そして、それらの育成方法には、相互の参考にすべき事柄が見いだせるのではないかと。このような疑問が浮かんできます。

情報科が始まり10年が過ぎ、新しい学習指導要領による教育が始まっているこの時期に、また、さらに先の10年を見越した次の学習指導要領の議論が開始されようとしているこの時期に、改めて情報科教育を考える場として、本フォーラムを企画いたしました。

晩秋の奈良、東大寺のおひざ元で情報科教育の今後に関して議論いたしましょう。

1. 日時・場所

日時：2014年11月29日(土) 13:00～16:10

場所：奈良県新公会堂（〒630-8212 奈良県奈良市春日野町101）

2. 参加費

本学会会員 無料（受付で会員番号をお聞きいたします）

本学会非会員 500円（資料代。当日受付にてお支払い願います）

参加に際しては、事前登録（<http://goo.gl/forms/eTfxHvFaM8>）をお願いいたします。

11月25日正午までに登録をお願いいたします。当日参加も可能ですが、資料は事前登録者に対して優先的に配布いたします。

3. 内容

<開会挨拶> 13:00 - 13:05

<講演> 13:05 - 15:55 (1時間50分)

13:05 - 13:35 「次世代の能力観：21世紀型スキルとその育成」

福本 徹 (国立教育政策研究所生涯学習政策研究部)

13:35 - 14:05 「21世紀型スキル/Computational thinking 力育成に関する海外動向」

中條 道雄 (関西学院大学)

14:05 - 14:35 「埼玉県における21世紀型スキル育成について」

山本 哲也 (埼玉県教育局県立学校部高校教育指導課)

14:35 - 14:55 「21世紀型スキルの育成を意識した情報の科学の実践」

稲川 孝司 ・ 勝田 浩次 (大阪府立東百舌鳥高等学校)

<休憩> 14:55 - 15:05

<質疑・議論> 15:05 - 16:05 (1時間)

上記講演者への質疑と、参加者を交えてのディスカッション

指定討論者 岡本 敏雄 (日本情報科教育学会 会長)

<閉会挨拶> 16:05 - 16:10

以上.